

三陽機器

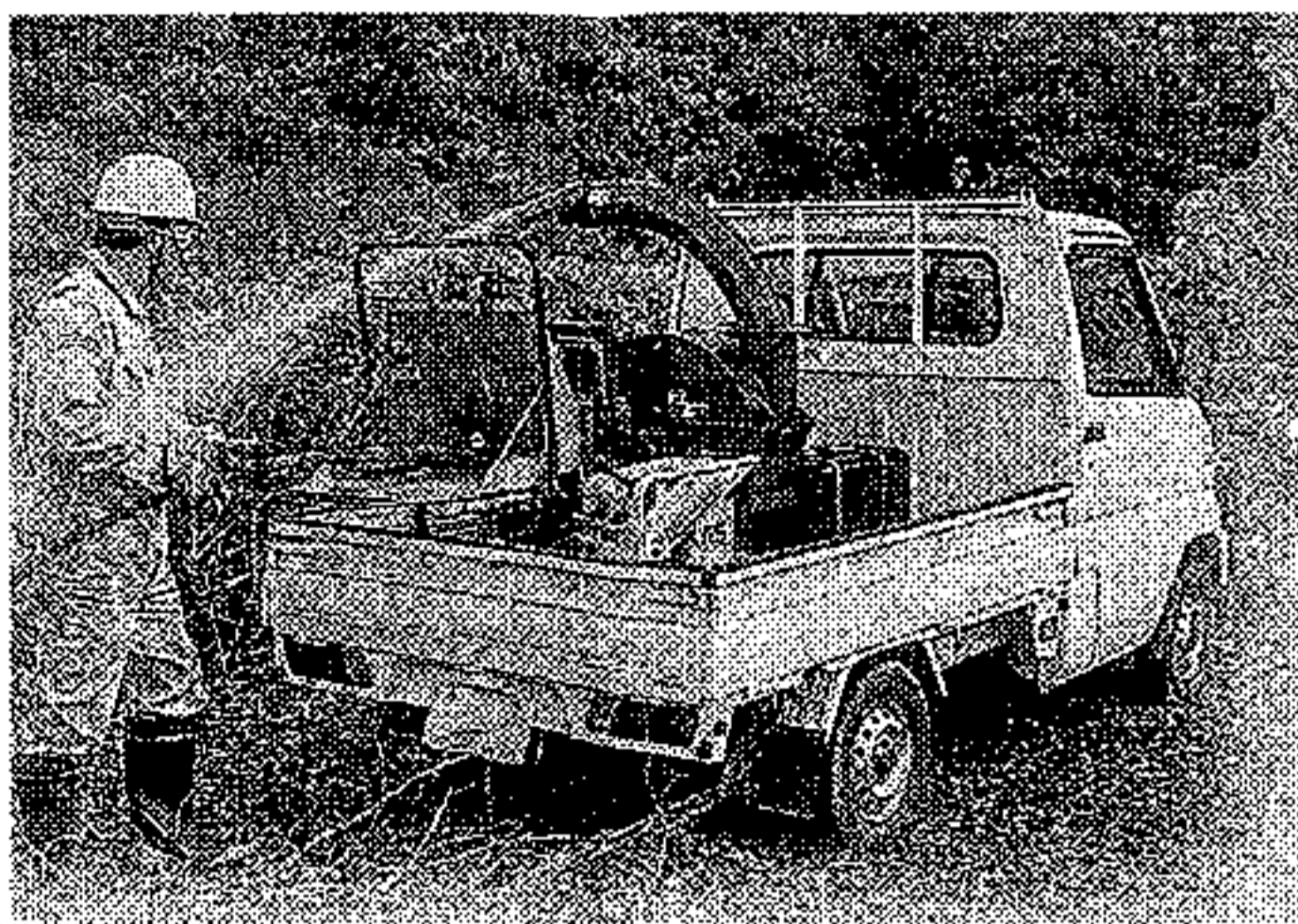
廃棄樹木を再活用

破碎機グリーンフレیکا

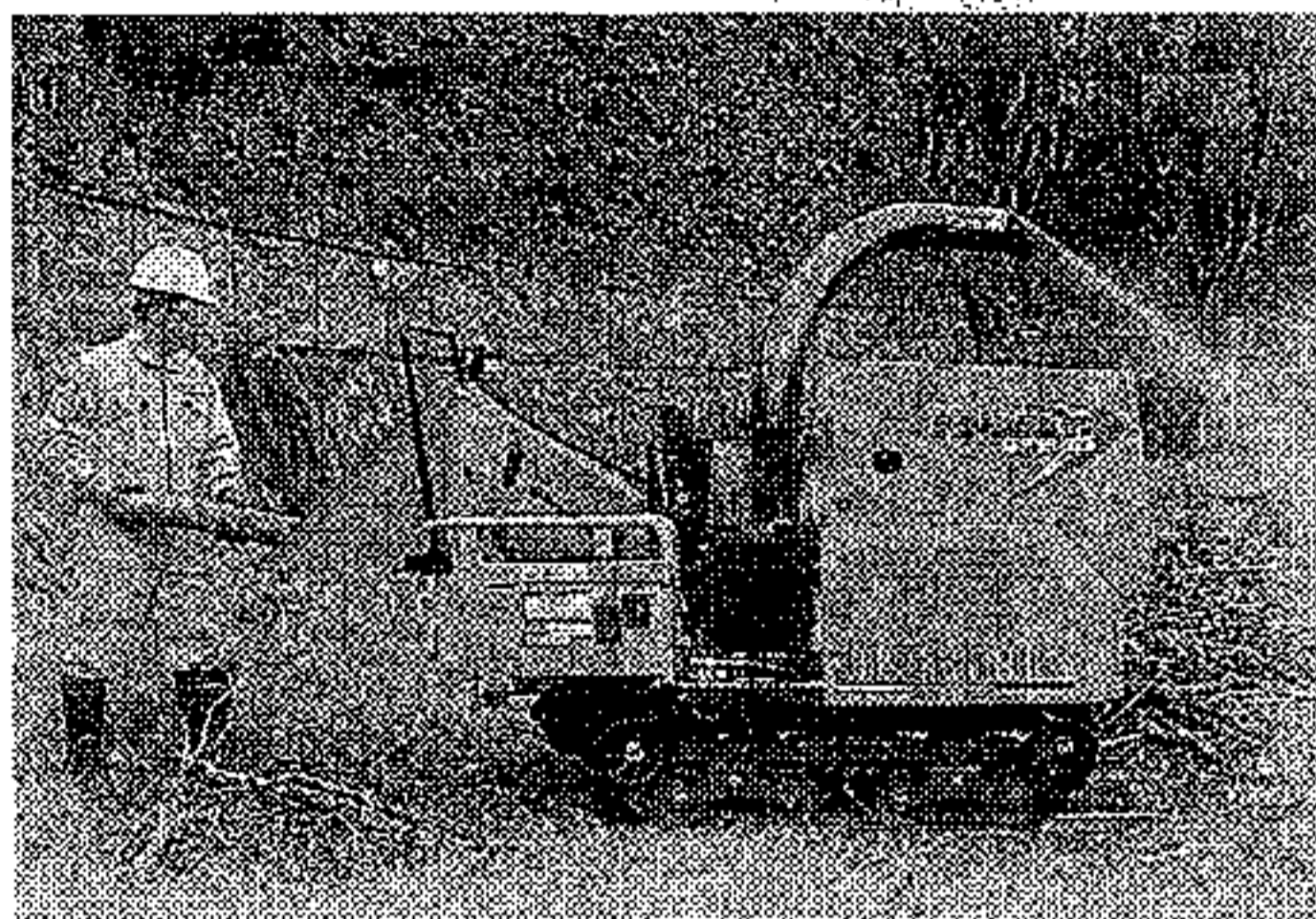


寺前社長

三陽機器(寺前公平社長)が、昨年五月に発売した環境関連商品の樹木破碎機が着実に販売実績を伸ばしている。これは、軽トラック搭載式樹木破碎機「グリーンフレیکاGF120S」並びにディーゼルエンジン搭載自走式樹木破碎機「グリーンフレیکاGF150D」の二機種。果樹農家、造園・土木業者、公共施設などで注目の商品となっている。



軽トラ搭載式「グリーンフレیکاGF120S」



ディーゼル自走式「グリーンフレیکاGF150D」

三陽機器(岡山県浅口市郡里庄町新庄三八五八)の軽トラック搭載式およびディーゼルエンジン自走式樹木破碎機は、有機性資源を有効に活用し循環型農業への取り組みを進める環境保護を重視した商品。

【グリーンフレیکاGF120S】軽トラック搭載式として開発。総重量は三五四kg。出力は空冷二二馬力。小売価格は百六十八万円(税別)。
《主な特長》①軽量コンパクト設計で軽トラックの荷台に搭載可能。狭い道で機動力を発揮②シュートは三六〇度回転でき排出角度は可変式③破碎

物の送り装置は操作が容易な自動制御付き油圧駆動方式を採用④破碎物の送り速度を選べる油圧可変送り装置を採用(ダイヤル調整で毎分〇〜二五m)⑤伐木等の破碎処理径は、定格処理径一〇〇%、最大処理径一二五%で、処理能力は毎時三・三m³⑥破碎物は樹木の他、木の皮・ワラ・孟宗竹・雑草・新聞紙・ダンボール・粉殻・椎茸廃木・つる草など。
【グリーンフレیکاGF150D】ディーゼルエンジン搭載により、燃料消費効率向上した。本体重量は九六〇kg。走行は前進二速・後進一速の油圧駆動。小売価格は二百九十八万円(税別)。
《主な特長》①破碎物の送り装置は操作が容易な油圧駆動方式②破碎物の送り速度を選べる油圧式可変送り装置を採用(ダ

イヤル調整で毎分〇〜三三%)③破碎装置は剛構造設計で、一次破碎はチップパー刃で切断、二次破碎はシュレッダ刃で細かく破碎④破碎能力はクラス最大の処理径とスピード。伐木等の破碎処理径は定格処理径一二五%、最大処理径一五〇%⑤シュートは三六〇度回転ができ、排出角度の調節も可能。チップを直接トラック等へ積み込める⑥重量は九六〇kgで一トトラックに搭載可能⑦立形水冷四サイクルディーゼルエンジン二〇・一馬力(定格)搭載など。
◇ 国が推進しているバイオマスニッポン戦略は木材利用の面でも積極的に推進する。